



第124号

平成31年

1月15日発行

# 蒼雲

【発行】

島根県立三刀屋高等学校

〒690-2404

雲南市三刀屋町三刀屋 912-2

TEL: 0854-45-2721

FAX: 0854-45-5630



新年あけましておめでとうございませす。二〇一九年は亥年。イノシシといえは皆さんほどのようなイメージを持っているでしょうか。「猪突猛進、向こう見ずに猛然と突き進む」というようなイメージでしょうか。

しかし、イノシシの実態はかなり違うようです。ある研究によりますと、直線のコースの途中に障害物として木の枝をたくさん置いて、人が後ろから追い立てたところ、イノシシは何の躊躇もなく突っ切るが、向かってくるイノシシに目の前でワンタッチ傘を開いてみると傘が開いた瞬間、急ブレーキをかけUターン

新たな1年  
新たな時代へ

## 慎重に行動し力を蓄えるとともに 思い切って踏み出す勇氣も持つ年に

したそうです。また、ある別の実験を行った六ヶ月後に同じ実験をするとその手法をすべて覚えていたとか、実験のご褒美として与えたえさの数を覚えていて数が一粒少ないと探し回るといような状況も観察されているということです。その研究者によると、こうした実験を通して、イノシシは状況を観察し考えて行動する能力や優れた記憶力、模倣学習能力があるということだそうです。かなりイメージと違いますよね。

私たちの日常生活には、じっくり考え慎重に行動しなければならぬ場面もあれば、こうと決めたらまっしぐらに突き進まなければならぬ場面もあるように思います。昨年十一月に「はやぶさプロジェクト」のチーフディレクターを勤めていらつしゃったJAXAの川口淳一郎氏をお招きし、本校の一年生を中心に「講演いただきました。多くの金言をいただきましたが、私が最も感銘を受けた言葉の一つが「思い切った次のページをめくる勇氣を持つ」という言葉でした。宇宙のことはもちろん、この地球の奥底のことさえ人類はほとんど分かっていません。分からないからと言ってその場に立ちすくんでいては、いつまでたっても

### 【教育課程実践モデル事業 研修会・研究授業】



三刀屋高校では、平成二十九・三十年代に「教育課程実践モデル事業」に取り組み、「授業」「家庭学習」「課題研究」の有機的な結合を図る「三高トライアングル学習」をテーマにさまざまな取り組みを行ってききました。

十二月三日には、島根大学教育学部 富安慎吾先生をお迎えし、教員対象の研修会を行いました。「主体的・対話的で深い学びとその評価」というタイトルで、ループリクを活用した評価の方法や、本校の課題などについてお話していただきました。

また、十二月十八日には国語・地理公民・数学・理科・英語の五教科で研究授業を行いました。校外からもたくさん先生方に参加していただき、古典B(2年)・地理B(2年)・数学I(1年)・生物基礎(2年)・コミュニケーション英語I(1年)の授業について活発な意見交換が行われ有意義な授業研究となりました。

年度末には、二年間の事業をまとめた報告書を作成する予定です。



### 【放射線に関する学習】

政府は、国民の一人一人がエネルギーや原子力について理解を深め、自ら考え判断する力を身に付けるための環境整備を図る観点から、「原子力・エネルギー教育支援事業」を行っています。三刀屋高校では、平成三十年度に放射線簡易測定器などを購入し、授業で活用しています。

花崗岩など自然に存在するものからも放射線が出てくることなどを学んだ後、校舎内外でどれくらい放射線量があるのか簡易測定器を使って測定を行い、結果について考察しました。



### 【合格を願う切符の贈呈式】

一月十日、JR西日本木次鉄道部から受験を控えた三刀屋高校三年生に合格を願う切符とメッセージが贈られました。切符は日登駅の入場券で、日が昇る駅(日登駅)から明るい場所(合格)に到達してほしいという願いが込められています。

切符を受け取った毛利さんと小田川くんは、「受験に向けて不安な気持ちもあるが、こうして応援して頂いたことを力に頑張りたい」「センター試験まであと少しなので、受験生全員が第一志望に合格できるように、一生懸命勉強したい」とお礼と決意を述べていました。



### 2月の行事

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
							学年末試験①					学校開放															
							学年末試験②																				
							学年末試験③																				
							学年末試験④																				
							1・2年身だしなみ指導																				
							国公立大前期試験																				
							第3回PTA生活委・第2回PTA人権同和教育委																				
							第3回英検2次																				
							学校開放																				
							第2回PTA評議員会																				
							3年人権同和教育講演会・身だしなみ指導																				

### 【島根県高校総体スキー競技】

一月六日、七日に琴引フォレストパークスキー場で島根県高校総体スキー競技が行われました。ジャイアントスラローム、スラロームともに二位に入賞し、二月八日から秋田県で行われるインターハイに出場します。

冬休み中は早朝練習やナイターでたくさんの方々々に指導してもらいました。このことを活かしてインターハイでは、全力で挑んでいきたいと思えます。

(二年 坂本豪太)

祝 インターハイ  
出場



## 出雲地区高校新人バスケットボール大会



12/15-16

男子バスケットボール部が、島根県新人大会のベスト8シード権を獲得しました。



祝 優勝



試合結果

1回戦 対 出雲西	70	-	36
2回戦 対 出雲工業	89	-	32
決勝 対 大社	70	-	49

## 12/6 ボランティア講習会

JRC部やボランティア委員など24名が参加し、雲南市内でボランティア活動を行っている団体の方から活動についてのお話を聞きました。中には本校の卒業生の方もおられ、和やかな雰囲気で見聞交換などを行いました。



## 12/16 雲南たたらシンポジウム

雲南市で、今後たたらとどのように暮らしていくか、その切り口や取組みを考えるためのシンポジウムが行われました。本校からは1年生4名(古藤快くん・堀江柁介くん・板倉圭完くん・周藤良平くん)が「未来創造探究I」での成果と提案を発表しました。



## 12/18 図書館クリスマス会

図書館では、毎年クリスマスの時期にイベントを行っており、今年もたくさんの生徒が参加しました。恒例となった吹奏楽部の演奏やビンゴ大会に加え、今年は図書委員によるクイズ大会もあり、普段は静かな図書館にぎやかな歓声が響いていました。



## 【未来創造探究I 発表会】

三刀屋高校では、「未来創造探究」として地域の課題を知り、改善にむけた提案を行う探究活動を行っています。一年生は「未来創造探究I」として、あらかじめ決められたテーマの中から興味があるテーマを選んで、グループで探究活動を行いました。

まず、六月に市役所や地域の事業所で働く方をお招きして研究テーマに関する講義を聞いた後、基礎的な



テーマに関する講義



フィールドワーク



知識を得るための調べ学習を行いました。その後、七月と十月にフィールドワークを行い、事業所を訪問してインタビューを行ったり、施設を見学させて頂いて、テーマに関する知識を深めました。

十一月には調べたことをまとめるとともに、改善に向けた提案を検討しました。中間発表では、NPO法人カタリバの方などから提案や発表内容、発表態度に関する意見やアド



グループ発表



バイスを頂いて更に良い提案になるよう改善を行いました。

最後に半年間のまとめとして六つの分野に分かれて発表を行い、その中から選ばれた八グループが学年全員の前で発表を行いました。

発表者は緊張しながらも、自分たちが調べた内容や提案を懸命に説明していました。その他の生徒たちも友人の発表を興味深く聞き入っていました。



学年発表



### 学年発表のテーマ及び発表者

地域の資源や特徴を活かした畜産の価値と課題とは . . . . . 藤原拓未・松浦千夏・上原颯斗・定本ゆきな  
 たたら製鉄が暮らしに与えた影響とこれからの活用とは . . . . . 古藤快・堀江柁介・板倉圭完・周藤良平  
 雲南在住の外国人の困りごとから考える外国人にやさしいまちとは . . . . . 勝部瑠奈・芝原春菜・坪倉茜  
 治水のために必要なダムと斐伊川の役割とは . . . . . 板持瑞生・板持正弥・名原康介・吉田千之輔  
 斐伊川和紙の歴史と、伝統産業を継承していくための新しい活用方法とは . . . . . 三浦風花・三島祥太・田中太士・西村彩  
 日本と他国の教育の違いからみる日本の教育の課題と特徴とは . . . . . 高尾ひまり・加藤里音・菅田実玖・楠部夕夏  
 大腸がん検診を多くの人に受けてもらうためには . . . . . 飯塚華音・市場ゆいか・川上大翔・永井亮多  
 雲南市における産前・産後ケアの現状と課題とは . . . . . 藤澤ほのか・神田亜門・田部友唯・酒井亜寿花